

科目	目的・目標	内 容	単位 (時間)	方法	進 度
看護の基礎実習Ⅰ (コミュニケーション・生活援助)	<p><目的> 対象との人間関係を構築しながら全体像を捉え、日常生活援助を提供する能力を養う。</p> <p><目標> Ⅰ. 対象とのコミュニケーションが効果的に図れ、人間関係を成立できる。 Ⅱ. 対象を身体的・精神的・社会的側面から理解し、対象に必要な日常生活上の看護を考えることができる。 Ⅲ. 対象に必要な日常生活援助を提供できる。 Ⅳ. 看護学生としての自覚をもち、社会性を身につける。</p>	<p>【コミュニケーション】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象と対話するために必要な情報を得て、会話を展開する。 2. 対象の言語的・非言語的コミュニケーションを観察する。 3. 対象の反応から対象の思い・ニーズを受け取る。 4. 共感的、受容的態度で傾聴する。 5. 自分の考えや思いを他者にわかりやすく伝える。 <p>【看護過程の一部】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的欲求が充足した状態かを判断するために必要な情報を収集する。 2. 収集した情報を用いてアセスメント(解釈・分析・判断・推測)する。 3. 基本的欲求が充足か未充足かを判断する。 <p>【生活援助】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の未充足なニーズに対し、必要な日常生活上の看護を考え、対象に必要な日常生活援助の計画を立案する。 2. 対象の反応を観察しながら、安全・安楽・自立を考慮した援助を指導者と共に実施する。 3. 実施した援助の評価・修正を行う。 	2 90	<p>【臨地】</p> <p>場所：星総合病院</p> <p>期間：9日間</p> <p>形態： ・日常生活の援助を必要とする対象を受け持つ。看護過程のアセスメント、問題の抽出まで行う。</p>	1年次 後期